

松江市 報道提供資料

令和 7 年 1 月 24 日

件名 松江歴史館スポット展示「記録する絵画 朝鮮漂着民肖像画」の開催

内容

江戸時代後期、現在の島根県隠岐郡海士町に 12 人の朝鮮人が漂着しました。彼らを描いた肖像画 8 点が現存し、令和 5 年に松江歴史館に寄贈されました。本展はこの 8 点を公開するコーナー展示です。これらの肖像画を通して、江戸時代の日韓の交流について、韓国の文化について知っていただく機会となれば幸いです。

会 期 令和 7 年(2025)1 月 28 日(火)～3 月 30 日(日) 開館時間:9:00～17:00(観覧受付は 16:30 まで)

休館日:毎週月曜日 ※ただし祝日の際は翌平日。

場 所 松江歴史館 基本展示室 最終コーナー(基本展示観覧料が必要)

【問い合わせ】

文化スポーツ部松江歴史館 担当: 藤岡

電話: 0852-55-5511

松江歴史館 令和6年度

スポット展「記録する絵画 朝鮮漂着民肖像画」開催概要

展示タイトル

スポット展「記録する絵画 朝鮮漂着民肖像画」

開催趣旨

江戸時代後期、現在の島根県隠岐郡海士町に12人の朝鮮人が漂着しました。彼らを描いた肖像画8点が現存し、令和5年に松江歴史館に寄贈されました。本展はこの8点を公開するコーナー展示です。

肖像画は1枚に1人ずつ漂着朝鮮人を描いたもので、当人の容貌の特徴をとらえたと思われる立像の肖像画に、名前、年齢、身長が付されています。これらは平成16年（2004）に松江市内の民家で発見され、市内の郷土史家により調査されました。その調査によれば、12人は現在の韓国 慶尚道蔚山（キョンサンどう ウルサン）を出発し、釜山（プサン）で税としての米を納め、その帰り文政10年（1827）3月8日に海士に漂着したといわれています。その後一行は松江、長崎を経て無事に帰国しています。

これらの肖像画を通して、江戸時代の日韓の交流について、韓国の文化について知っていただく機会となれば幸いです。

会期・開館時間

〔会 期〕令和7年（2025）1月28日（火）～3月30日（日）

※休館日：毎週月曜日（祝日の際は翌平日）

〔開館時間〕9時～17時 ※観覧受付は16時30分まで

開催場所 松江歴史館 基本展示室最終コーナー

観覧料

基本展観覧料に含む。

大人510円、小・中学生250円（団体（20名以上）は、2割引）

主催 松江歴史館



「朝鮮漂着民肖像画」のうちチャンカ